

1000万円など。

歳出では公債費が4億7026万5千円。浄化センター長寿命化計画調査が1000万円、東部農排統合実施設計が1500万円など。

問 浄化センターの長寿命化計画の内容は。

答 国交省の施策で、計画をたてて予算化しないと補助対象にならず、寿命の目安は電気設備は10年から20年、施設は15年、建物は50年を想定しています。

問 加入率は。

答 水洗化率は22年度末で75・4%、個人住宅で区域外からの加入が増えています。区域内で最も低い地域の加入率は38・4%だが、ほとんどが営業施設で浄化槽を持っていてるためです。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●農業集落排水事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、3602万円とするもので、前年度と比較して2万8千円、

0・1%の増。

主な内容は、歳入では使用料が852万8千円、一般会計繰入金で2500万円など。歳出では公債費が2639万5千円、維持管理費が950万円など。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●水道事業会計予算

損益勘定では、収益は2億9154万1千円、費用は2億9057万3千円で96万8千円の経常利益を計上。

資本勘定では、収入は4669万9千円、支出は1億3727万8千円で、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額、9057万9千円は、損益勘定留保資金等で補填。

問 自動検針の件数は。

答 23年3月末で水道加入件数は5309件。そのうち自動検針は2337件で44%。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

総務社会委員会

山小屋改修等に9年間で4700万円

●白馬村八方体育館の指定管理者の指定

財団法人八方振興会で、指定期間は平成24年4月1日から29年3月31日。八方体育館の設置条例にある指定管理者による管理ができるという規定による。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村辺地対策総合整備計画の策定

白馬村の辺地は、内山、嶺方・南方、青鬼・通、落倉・立の間、野平の5辺地。それぞれ5年間で、内山は観光レクリエーション施設の整備事業と村道1001号線の改良事業に6060万円、うち5860万円は辺地対策事業債を活用、嶺方は村道1033号線他改良事業に1000万円の辺地債の活用、青鬼は村道3

041号線他改良事業に300万円の一般財源の活用、落倉は村道3101号線改良事業に1億3600万円の辺地債の活用、野平は村道3038号線の舗装新設事業に100万円の一般財源の活用を計画。

問 一般財源を活用する事業計画も総合計画に載せるのか。

答 辺地債を起債する計画だけでなく、辺地の整備計画全部を載せます。

問 計画の立て方は。

答 地元要望、緊急性など様々な面を考慮します。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例

昨年スポーツ基本法が制定され体育指導員をスポーツ推進委員に、また学校外部評価委員を学校関係者評価委員に改める名称の変更。さらに社会福祉推進委員及び食育推進

会議委員を新たに設けるもの。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村保育所設置条例の一部を改正する条例

保育園の定員を、3歳以上を150名（10名減）に、3歳未満を30名（10名増）に変更する。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4929万8千円を減額するもの。

税務課では、476万3千円の増額で、滞納者の財産整理調査中に滅失届がなかったために課税されていたものが3件発覚し、補填するもの。スポーツ課では、2215万6千円の減額。観光レクリエーション施設の木橋工事の変更による減額。

住民福祉課関係では、78

8万円の増額で、国民健康保険事業特別会計繰出金の増。

問 観光レクリエーション施設の工事の変更内容は。